

彩小ふれあいだより

平成 23 年 1 月 18 日

3 年 今井さんと盲導犬ドロシー

広島市立彩が丘小学校
校長 竹 川 智 子



1月12日（水）3・4校時、今年も、今井敏代さんが盲導犬を連れて来てくださいました。今年で9年目になりました。3年生は、国語で「もうどう犬の訓練」という説明文の学習をします。盲導犬が一人前になるまでのきびしい訓練の様子や、盲導犬は目の不自由の人にとって体の一部であり、心の通う家族であるという内容をくわしく読み取ります。そして、総合的な学習の時間において、もっと知りたいと思うことを調べたり、話し合ったりします。今回、今井さんからお話で、学習したことをさらに深めることができます。

昨年まで、今井さんの盲導犬は黒いラブラドル犬「キキ」でした。キキは今井さんとは10年間も一緒でした。「おつかれさま、キキ」悲しい別れの話に涙があふれました。今は富田林市のパピーウォーカーのところにもどり、引退生活を送っているそうです。キキは骨肉腫が見つかり、大手術の上、免疫療法を受けながら、車いす生活でがんばっているそうです。今井さんの本「盲導犬キキ 風のように光のように」（かもがわ出版）が出版されています。書名のように盲導犬のおかげで、風や光を感じながら町を歩ける幸せをもらったと言われていました。今は2頭目の盲導犬であるドロシーと生活を始められています。ドロシーは12月17日生まれの2才の白いラブラドル犬。若いからでしょうか、今井さんの腕の上にあごをのせたり、クィ〜ンクィ〜ンと泣いたりして、甘えます。子どもたちは今井さんに会えるのをとても楽しみにしていました。今井さんのお話を真剣な表情で聞いていました。

1月22日（土）さくらピア小ホールにて、今井さんの講演会があります。開演 13：20
講演 14：20。ドロシーにとっては初ステージです。盲導犬第2号とともにご活躍です。

